



下ノ江造船株式会社

SHITANOE SHIPBUILDING CO.,LTD

RECRUIT





COMPANY

下ノ江造船とは？

下ノ江造船の歴史は、創業1978年11月に造船業が盛んな町、大分県臼杵市からはじまりました。当社が置かれている下ノ江湾は、「1.波が穏やかである 2.係留に十分な接水面と水深がある 3.三方が山に囲まれている」という造船所としての優れた立地条件が揃っていることから、古くから風待港として船の出入りが多くあったことが頷けます。

先代・先々代の意思を引き継ぎ、40年以上の時を経て、国内のみならず『World Wide』で活躍する船舶の建造を手掛けグローバルへ展開する企業へと成長してきました。デジタル技術の発展と環境課題の解決に向けて世界が大きな転換期を迎える今、私たちはこの変化に柔軟に対応できるよう日々挑戦を続けています。



OIL / CHEMICAL TANKER
D/W 25,000M.T. TYPE

「航海の門出を 一番近くで見守る仕事」

私たちが建造する船は、国内そして世界の海運を担うことになります。また私たちが得意とするケミカルタンカーやLPG船は特殊な船であり、1隻1隻運ぶ荷も、大きさも、形も、2つと同じものがない1品もののオーダーメイド。造船業ならではの手応えと醍醐味、そして海運物流を支える社会貢献、地域貢献を存分に味わえる仕事です。



GAS CARRIER 8,700CBM. TYPE

APPEALS

下ノ江造船で働くということ。

ダイナミック
なものづくり

私たちが手がけるのは多種多様な船。時にはビルより大きな船を建造します。自分が手がけた船がダイナミックに海を走る瞬間は、技術者冥利を実感できます。

やりがい
のある仕事

私たちの仕事は、人々の生活を結ぶ輸送の根幹を世界規模で支え続けます。社会に貢献していくという想いが、私たちのやりがいに結びついています。

働きやすい
環境

多様な職種が関わる造船業。部署の垣根を超え、協力し合う風土が整っています。1時間単位で使用できる有給休暇制度や、産休・育休制度もあり、安心して長期働ける環境づくりに注力しています。

SHIP BUILDER

船をつくる人



船舶設計 基本設計・開発部

設計本部 基本設計・開発部 基本設計課
2013年4月 入社 / 日本文理大学 工学部 航空宇宙工学科 卒

「国境を越えた仕事、 日本にいながら世界と共に働いている。」

幼い頃から、ロケットや船、飛行機といった大きな乗り物が好きで、輸送機器を作る仕事も視野に入れて大学では工学系に進み、航空宇宙工学科で流体力学を学びました。入社してからは設計本部・基本設計課で働いています。国の法律に合わせて船舶を造らないといけないので、船の安定性を計算して法律的に問題ないか船級協会や各国の主管庁とすり合わせを行うのが私の仕事です。外航船の建造も多いので、国際的なコミュニケーションが日常的にあり海外を身近に感じるのは楽しいです。設計は図面上だけでなく実際に足を運んで建造中の船をチェックすることもありますし、営業さんと一緒に説明に回ることもあります。船主さんや現場の声を設計に反映して、実際の船に結実できるように経験を積み重ねていきたいです。

INTERVIEW

INTERVIEW

「多種多様な船造りに魅了。 幅広い、奥深い。だから面白い。」

下ノ江造船との出会いは、大学内で行われる就職支援セミナーへの参加です。小型～中型、ケミカル船やLPG船など多様な船種を手掛けていることが魅力的で就職を決意しました。

艦装とは室内や室外、モーターなどそれぞれの設備を船体に取り付ける工程で、私は主に艦装鉄鋼・大工・防熱・左官工事の工事管理を担当しています。建造の最初から最後まで関わる仕事ですが、とくに試運転前や竣工前の機器類の作動確認や取扱い説明時は注力しています。下ノ江造船は手掛ける船舶も多種多様で、新しい船の建造毎に知識が深まるのも魅力のひとつ。各部署や協力会社の職人さんたちと垣根を越えて協力し合う文化が根付いているので、その環境がより良い船造りに繋がっていると思います。



製造管理 艦装部

製造本部 艦装部 船装課 船装グループ
2015年4月 入社 / 日本文理大学 工学部 機械電気工学科 卒



資材 資材部

資材部 資材課
2014年7月 入社 / 尾道市立大学 芸術文化学部 日本文学科 卒

「製造を支える連携プレーの仕事。」

資材部資材課の中で、主に鋼材関係の発注や納期管理をおこなっています。決められた納期に部材が納入できるように、製造や設計などの社内関係部門とサプライヤーの間に入って納期調整を図るのが私の職務です。造船所では、協力会社の方たちも含め多くの方が製造に携わっているので、滞りなく進行できるようクイックリーな対応を心がけています。個のスキルアップを図りながら、社内外の関係者とうまく連携をとって製造のサポートをしていきたいと思っています。

下ノ江造船はワークライフバランスについてよく考えてくれている会社だと思います。例えば、1時間単位で有給休暇がとれること。病院や家庭の用事などで必要な時に使いやすい制度だなと思います。他にも産休・育休制度もしっかりあるので復帰後も働ける場所があるというのは女性としても安心です。

INTERVIEW

INTERVIEW

「縁の下の力持ち、コツコツと着実に。」

自宅から近い職場を探していたところ、下ノ江造船の求人と出会いました。通勤に便利という単純な動機で面接に行きましたが、働く社員や職場の雰囲気がとても良くて、面接から帰る頃にはここで働きたい!という気持ちが強くなっていました。入社後も、業務未経験でしたが先輩が優しく指導してくださり、新しいことをどんどん吸収できる職場です。管理部管理課の中でも私は、新造船の原価伝票入力や集計、協力会社の工数確認などコツコツと着実に行う仕事が多いです。ミスや見逃しがないようにダブルチェックを行い、期限を守って正確な仕事をおこなうよう心掛けています。目立つ仕事ではありませんが、会社で働く社員の方をしっかりと支える仕事。他部署の方にも感謝されることも多く「ありがとう」と言ってもらえるととても嬉しく、頑張って良かったと思います。



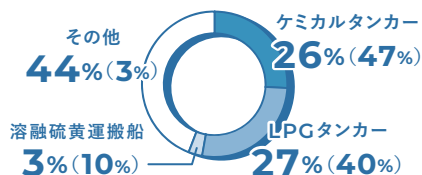
管理 管理部

管理部 管理課
2020年5月 入社 / 長崎大学 工学部 電気電子工学科 卒

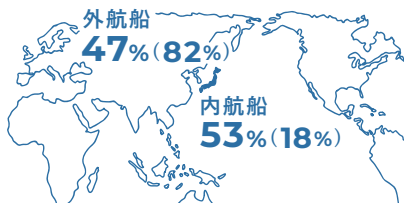
DATA

数字で見る下ノ江造船

船種別建造実績 ※()は直近10年



内航・外航船比 ※()は直近10年

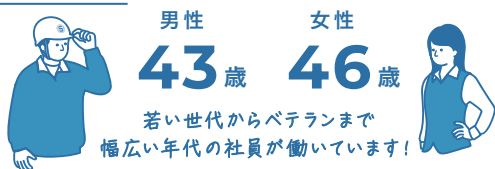


文系・理系

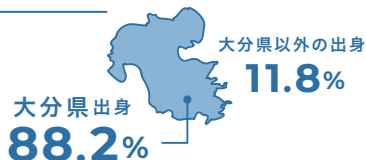


意外と文系が多い！

平均年齢



出身地



子育てしながら働く女性社員

ワーママが活躍しています！

33.3%
産後休暇・育児休暇あり



主な出身学校

日本文理大学 / 長崎総合科学大学 / IVY 総合技術工学院 / KCS 大分情報専門学校 / 大分県立白杵高等学校
大分県立海洋科学高等学校 / 大分県立津久見高等学校 など

採用の流れ

STEP1

ハローワーク紹介
or
学校推薦
or
リクナビエントリー

STEP2

書類選考

応募書類を郵送していただきます。

STEP3

面接・筆記試験(一般常識)

本社にて実施します。

STEP4

内定

会社説明会・工場見学

会社説明会・工場見学を随時受付けています。
ご希望の方は「リクナビ」からお気軽にお申しください。

／ スケールの大きさに驚く！ 船が出来る過程をのぞいてみませんか？
巨大な船をつくるための、巨大な施設と空に向かって高くそびえ立つ
クレーンに圧倒されます！

会社概要

社名	下ノ江造船株式会社
所在地	〒875-0002 大分県白杵市大字下ノ江1200番地
TEL / FAX	0972-67-2216 / 0972-67-2465
代表者	代表取締役社長 田中章夫
創業	1978年11月1日
創立	1979年3月30日
資本金	1,750万円
従業員数	本社 83名 協力会社 300名 (2023年3月31日現在)



したのえ
下ノ江造船株式会社
SHITANOE SHIPBUILDING CO.,LTD



ACCESS

白杵駅から車で15分 / 下ノ江駅から徒歩15分
大分空港から車で1時間25分



shitanoe.jp